



たむら工場探検隊

昨年12月26日、市青少年健全育成市民会議事業の「たむら工場探検隊」が行われ、市内の藤倉航装株式会社船引工場と株式会社A-Plusを見学しました。

参加した45人の小学生は、工場の方の説明を真剣に聞きながら、普段は見られない工場の中を探検しました。また、市内で働く人の姿を見るなど、貴重な経験となりました。



市学力向上 ラウンドテーブル

昨年12月25日、市総合体育館で、市内の小・中学校こども園・幼稚園教職員、市職員、船引高校教職員、PTA会長等が参加し、学力向上をキーワードとしたラウンドテーブルを開催しました。1グループ5人で、教職員が日頃の授業実践や取組みを発表し、市職員が教育について考えていることや教職員の発表への感想等を述べました。

また、文部科学省職員の藤井健人さんが「不登校と定時制の『その後』に待ち受けるもの」と題し、講演しました。



お話し会&木工教室

昨年12月24日、大越公民館で、63人の子どもたちが大越のびのびチャレンジスクール「お話し会&木工教室」に参加しました。

子どもたちは、お話しボランティアさんから2話のお話しを聞いたほか、「もちつき」の手遊びゲームを行いました。木工教室では、10種類の木工キットに挑戦。金づちで「くぎ」を打つ音がにぎやかな中、曲がったくぎを直したり、仕上げの絵を描くなど、冬休みの有意義な一日を過ごしました。



年末年始の火災予防活動

昨年12月21日、市消防団常葉地区隊と常葉方部民生児童委員協議会は、共同で訪問活動を実施しました。

常葉方部民生児童委員協議会は、夏と冬の年2回、独居高齢者宅へのふれあい訪問活動を実施しています。この活動に、消防団常葉地区隊女性部員が同行し、火災予防を呼びかけました。

今回訪問した方には、民生委員から慰問品を、消防団からは年末年始火災予防運動と住宅用火災警報器の設置に関するチラシをお渡ししました。



冬の特別おはなし会

昨年12月21日、市図書館で「冬の特別おはなし会」が開催され、44人の親子が参加しました。

お話し会どんぐりのみなさんによる、絵本や紙芝居、ビッグブックや手あそびなどの冬にちなんだプログラムを楽しみました。最後にサンタさんが登場し、子どもたちへプレゼントを手渡しました。

子どもたちはみんな笑顔で大喜びし、楽しい時間を過ごしました。



全国中学バレーボール大会 に坪井さんが出場

日本オリンピック委員会(JOC)ジュニアオリンピックカップ第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に、福島県代表として選出された都路中学校3年の坪井咲空さんが昨年12月19日、市役所を訪れ、市長が激励金を手渡しました。

坪井さんは大会への抱負を述べ、市長や教育長がエールを送りました。同大会は昨年12月25日～28日、大阪市で開催されました。



船引だるま市

1月18日、船引だるま市が船引町商工会館駐車場で開かれ、だるまや縁起物、あったかグルメの販売等にぎわいました。

大越町の鬼五郎幡五郎和太鼓保存会による演奏が会場を盛り上げました。また、毎年実施しているまき福もち大会には老若男女たくさんのお客さんが参加し、激しい争奪戦が繰り広げられました。



全国都道府県駅伝大会に 三輪さんが出場

天皇盃第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に福島県代表として選出された船引中学校2年の三輪奈槻さんが1月9日、市役所を訪れ、市長が激励金を手渡しました。

三輪さんは、代表選手に選ばれた喜びや、大会に向けての意気込みなどを述べました。市長・教育長は、激励の言葉を送りました。

同大会は1月19日に広島市で開催されました。



市新春交歓会

1月5日、7年市新春交歓会が迎賓館辰巳屋で開催されました。初めに、大鎧神社夫婦獅子舞保存会による夫婦獅子舞とNPO法人たむらちいき活動部ダンス部による田村市市民の歌のダンスなどが披露され、交歓会に花を添えました。

市長のあいさつ後、大橋幹一市議会議長などから祝辞をいただき、JA福島五連の管野啓二会長の発声で乾杯し、出席者は親睦を深めながら市の一層の発展を誓いました。



アソベンチャークラブ

昨年12月22日、常葉公民館で常葉小学生の会員14名と船引高校よさこい部との交流事業が開催されました。

前半は高校生から「よさこい」を教わりました。早い動きで難しそうでしたが、分かりやすく教えてもらい、1時間半で1曲を踊れるようになり、高校生も驚いていました。

後半は、常葉町の名嘉村真理子さん、山根亜紀子さんを講師に、全員で生クリームや果物、チョコソースなどを包んでクレープをつくりました。



第1回生涯学習セミナー 「そば打ち教室」

昨年12月22日、滝根公民館で、生涯学習セミナー「そば打ち教室」が開催され、11人が参加しました。

星の村そば倶楽部の会員を迎えて、そば粉からそばを打ち上げる工程の体験や「そばがき」「そばのかりんとう」の作り方を教わりました。

参加者は、慣れない作業に悪戦苦闘しながらも十割そばを打ち上げ、お土産として持ち帰りました。最後に、会員が打ったそばを天ぷらそばにして参加者全員でいただきました。



ふるさとふれあい教室

昨年12月22日、船引公民館で、ミニ門松づくりともちつき体験をしました。

当日は市内の親子18組が参加し、ミニ門松づくりでは親子で協力しながら竹を切ったり、飾りつけをしました。もちつき体験では大人も子どもも夢中でもちをつき、つくたてのもちを郷土料理「さいもち」などにして食べました。

普段なかなか目にすることがない正月飾りを自分で作ったり、もちをついて食べたり、貴重な体験ができました。